



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

理事長のごあいさつ



理事長:中川原 章
(なかがわら あきら)

好生館の働き方改革

戦後72年を経た日本社会では、その構造のみでなく、人々の意識のうえでも大きな変化が生じてきました。なかでも、戦後の高度経済成長の時代が終わり、バブル崩壊後に顕著になった少子高齢化が、着実に地域社会の構造を変えていく中で、私達の生活のあり方を含め、働き方に対する考え方や意識も大きく変わろうとしています。

このような、激変する地域社会の中で、病院の経営形態や経営方針も否応無く変わらざるを得ません。否、変えなければならないと言った方が正しいでしょう。それは、命を預かる過酷な職場において、働く職員の意識が想像以上に変わってきているからです。

好生館でも、本年4月に労働基準監督署の是正勧告を受け、5月に「働き方改革委員会」を立ち上げました。委員会は、病院内の各部署からの公募で選ばれ、委員長の理事長ほか、医師6名、看護師3名、その他の医療技術職員4名、事務職員4名の総計18名で構成されました。委員会では、職員の働く現状を分析し、時間外業務を含むこれからの働き方のあり方全体について協議します。折しも、好生館では、3年前から人事評価制度の確立に向けて準備を進めていたもので、給与体系も含めて、各部署における働き方の改革を行っていきたいと思っています。

天保5年に始まる好生館183年の歴史の中で、これからのあり方を方向付ける一大改革となります。県民の命と健康を守る使命を持つ好生館として、真摯にかつ着実に取り組んでいきたいと思ひます。

平成29年7月